

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（4月分）

留学先大学：ハンブルク大学

氏名：長田優輝

Moin! みなさん！こんにちは!!

この4月から約一年間ドイツのハンブルク大学に留学しております長田優輝です。
ハンブルク大学やドイツへの留学を控えている人や考えている人に有益な情報を提供できるような報告書を目指します！
初月となる今回はハンブルクについてや手続きなどを中心に私の生活を皆さんにお伝え出来たらと思います。



【ハンブルクってどんなところ？】

みなさん当然ドイツはご存知だと思いますがハンブルクについてはどうでしょうか？
ハンブルクはエルベ河畔の近く、北ドイツに位置する首都ベルリンに次いで2番目の都市です。

上の写真のように大きな湖もあり自然と都市が融合したような港町で、雰囲気的には日本でいう横浜や神戸が近いところだと思います。5月に近づくとつれどどん暖かくなっていますが4月はまだまだ寒い日も多く、まだまだ冬物が活躍します。

【諸手続きについて】

ハンブルクというかドイツは留学前の手続きがあまりない分、ドイツに来てから怒涛の手続きラッシュが始まります。4月はサマータイムに入るなので日本との時差7時間ですが、

ぼけてる暇もないほど手続きに追われるので覚悟をして渡航してください（笑）

多くの場合、手続き書類はドイツ語でしか書かれていないのでチューターのドイツ学生に頼りっぱなしの毎日で、自分が今何の手続きをしているのか、どこにどの書類を出せばいいのかぐちゃぐちゃになってしまいますが、しっかり自分で把握しておかないとのちのち苦労することになると思います。

ドイツに来てすぐにしなければいけないことを具体的にあげると、まずセメスターのお金を払います。ドイツでは学費はただなのですが学期ごとにお金を払うことになっているようです。そのため交換留学生でもセメスターのお金は払わなければならない、結局日本とドイツ二つの大学にお金を払うことになってしまいます。またドイツで暮らすためにはドイツの国民健康保険に加入しなければならずその手続きや、銀行の口座開設、そしてビザと住民登録の申請もしなければなりません。ビザの申請にも当然お金がかかりますし、寮の敷金と4月分の寮費など、

初月の出費はとてをかさみます

ので注意してください！（敷金と初月の寮費は事前に日本からも振り込むことができます。手数料はかかりますがそのほうが楽かもしれません。）

これらの手続きも一回行けば終わりではなく例えばビザが下りたらそれを銀行や保険に送ったり、保険の加入証明をビザの管理局に送ったりと最初の2週間くらいは大忙しでした。また手続きとは少し離れますがドイツでは自分がテレビを見ても見なくてもテレビの料金を払わなければならないらしく、そこでもお金を取られます。

【生活面での話】

私はドイツに関して、英語も通じて、手続きの対応言語も豊富で、ヨーロッパの中ではマメというイメージがありました。しかし実際、看板や手続きはほとんどドイツ語しか書いておらず、身の回りで聞こえる言語はドイツ語のみ、学生など若い世代は英語ができますが、街には英語ができない人も多くいました。また問題を担当者に質問しても分からないと言われ、原因追及をしてくれないなどルーズさも目立ちます。そのため手続きはもちろん、乗りたい電車、買いたい商品が分からないなどとても苦労しています。

また寮にはWi-Fiが常備されておらず、自分で有線のコードとルーターを買わない限りネットも使えないという悲惨な状況で大変苦労しました。

ただこのことに関しては、先学期からいらっしゃる日本人の先輩方がこの3月に帰った日本人留学生が使っていたルーターや家具を配布などしてくださり、おおきなトラブルはなく過ごせました。基本的にはドイツに来てすぐは部屋にWi-Fiがないと考えておいたほうが良いと思います。

【学校について】

ハンブルク大学は履修登録が基本的に完全先着順となっており、2日から3日ほど履修登

録機関があるものの初日が始まってすぐに登録しないと授業が取れないという事態に陥るので注意が必要です。また今学期からドイツ語のA1・A2のレベル（下から1番目と2番目のレベル）の授業がハンブルク大学では開講されなくなっていました。そのためドイツについて一週目に行われるプレースメントでそのレベルが出た場合はVOLKSHOCHSCHULE (VHS) というハンブルク大学と提携している学生に限らず市民ならだれでも受けれる市民大学の授業を受けることになります。細かく言うとハンブルク大学ではないですが、大学と提携しているのでちゃんと単位ももらえますし、追加料金などなく授業を受けることができます。（ちなみに私もA2なのでVHSの授業に参加しています。）

【その他の活動】

学校と関係ない活動では寮にいる日本人の方たちや、ハンブルクで働いていらっしゃる日本人、ハンブルク大学の日本学科のドイツ人と花見をしたり、日本では珍しい期間限定で解体し、移動する遊園地に行ったり、オランダにチューリップを見に行ったりと



なかなか濃い初月を過ごしたのではないかと思います。

ドイツ、なかでもハンブルクはヨーロッパの中でも中心に位置しており、東西南北どこにでも行きやすいため、ヨーロッパを巡るのには最適な都市だと思いました。

今月は諸手続きからプライベートな内容まで盛りだくさんの報告書になってしまったがいかがでしたでしょうか？

それではみなさん、また来月の報告書をお楽しみにしてください

Tschüss !